



平成 19 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 10 月 19 日

上場会社名 株式会社千趣会

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 8165

URL <http://www.senshukai.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 行待 裕弘

問合せ先責任者 役職名 取締役総務・IR広報部、財務企画部管掌

TEL (06) 6881-3100

氏名 藤由 和秀

(百万円未満切捨)

1. 平成 19 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	110,786	5.0	3,290	4.4	3,689	5.2	1,831	△ 37.7
18年12月期第3四半期	105,490	0.4	3,152	18.7	3,505	23.4	2,941	572.6
18年12月期	148,150	—	4,602	—	5,240	—	3,627	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年12月期第3四半期	39 39	39 25
18年12月期第3四半期	63 91	63 64
18年12月期	78 81	78 55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年12月期第3四半期	101,325	56,484	55.7	1,209 44
18年12月期第3四半期	93,738	55,024	58.6	1,192 88
18年12月期	95,508	55,708	58.3	1,207 89

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年12月期第3四半期	△ 4,454	△ 3,155	4,238	2,453
18年12月期第3四半期	△ 4,193	△ 3,507	△ 21	3,659
18年12月期	1,470	△ 6,426	△ 875	5,549

2. 平成 19 年 12 月期の連結業績予想 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	155,000 4.6	5,600 21.7	6,000 14.5	2,800 △22.8	60 23

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 12 月期 (通期) の連結業績予想に関する事項について修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、大企業の景況感は横ばい、中小企業は悪化しております。設備投資は堅調さを保っておりますが、個人消費に関しては足踏みを続けております。今後の景気の先行きに関しましても不透明さを増しております。また小売業界におきましても、個人住民税の負担増や年金不安に伴う消費者心理の悪化や天候不順による衣料の売上不振など厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、『中期経営計画』の最終年度として目標達成に向け中核事業である通信販売事業の収益力強化と効率化に引き続き努めてまいりました。

当第 3 四半期の売上高は、1,107 億 86 百万円（前年同期比 5.0%増）となりました。

利益面に関しましては、原価率は上昇いたしました。媒体費の削減などによる販売費及び一般管理費比率の低減により、営業利益は 32 億 90 百万円（前年同期比 4.4%増）となりました。

また経常利益は 36 億 89 百万円（前年同期比 5.2%増）となり、四半期純利益につきましては、繰越欠損金の解消による法人税等の増加により 18 億 31 百万円（前年同期比 37.7%減）となりました。

セグメント別の概況

(通信販売事業)

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第 3 四半期の売上高は、頒布会事業の会員数の減少による売上減はあったものの、カタログ事業において媒体により多少増減はありましたが、全体で前年度を上回り、1,027 億 8 百万円（前年同期比 1.6%増）となりました。

利益面におきましては、原価率の上昇により粗利益は低下いたしました。販売費及び一般管理費比率の低減により営業利益は 34 億 43 百万円（前年同期比 7.0%増）となりました。

(1) カタログ事業

当第 3 四半期の売上高は 918 億 98 百万円（前年同期比 3.4%増）となりました。

(2) 頒布会事業

当第 3 四半期の売上高は 108 億 9 百万円（前年同期比 11.2%減）となりました。

(その他の事業)

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送事業及び店舗事業、また法人向けの商品・サービスを提供する法人事業などを合わせたその他の事業の当第 3 四半期の売上高は、新規連結子会社の売上もあり 80 億 78 百万円（前年同期比 82.9%増）となりました。また営業損失に関しては、1 億 41 百万円（前年同期比 71 百万円損失増）となりました。

(注) 当中間連結会計期間よりセグメントの事業区分を変更しており、前年同期との比較にあたっては、前年同期の金額を変更後の区分に組替えて行っております。

なお、詳細については、3 ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 58 億 16 百万円増加し、1,013 億 25 百万円となりました。流動資産については、たな卸資産が 57 億 2 百万円増加したこと等により、43 億 62 百万円増加し、516 億 90 百万円となりました。また、有形固定資産が 5 億 87 百万円、無形固定資産が 10 億 90 百万円それぞれ増加いたしました。投資その他の資産が 2 億 23 百万円減少したことにより、固定資産は 14 億 54 百万円増加し、496 億 34 百万円となりました。

負債につきましては、流動負債において、短期借入金が増加したこと等により、50 億 40 百万円増加し、448 億 40 百万円となりました。

純資産は、四半期純利益 18 億 31 百万円を計上いたしました。その他有価証券評価差額金が 5 億 67 百万円減少したこと等により、7 億 76 百万円増加し、564 億 84 百万円となりました。この結果自己資本比率は 55.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物の残高は 24 億 53 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 30 億 96 百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は 44 億 54 百万円の支出となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益 32 億 76 百万円、減価償却費 12 億 50 百万円であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額 55 億 59 百万円、その他流動負債の減少額 15 億 6 百万円、仕入債務の減少額 7 億 41 百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 31 億 55 百万円の支出となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却による収入 21 億 23 百万円であり、主なマイナス要因は、投資有価証券の取得による支出 17 億 63 百万円、無形固定資産の取得による支出 16 億 4 百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は 42 億 38 百万円の収入となりました。主なプラス要因は、短期借入金の増加額 50 億円、自己株式の売却による収入 6 億 86 百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額 10 億 54 百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、景気は回復基調を保っておりますが、個人消費は低迷が続いております。また米国経済懸念や原材料高や為替変動のリスクなど不透明感を増してきております。

当社グループの通期の連結業績見通しといたしましては、残暑が続いたことによる秋冬カタログの売上減少やバーゲン増による原価率上昇の見込みによりこの中間期に発表いたしました業績予想を修正いたしました。売上高は 1,550 億円と予想しております。また利益面に関しましては、営業利益は 56 億円、経常利益は 60 億円、当期純利益は 28 億円を見込んでおります。

なお、個別業績予想についても同様に売上高は 1,500 億円と予想しております。また利益面に関しましては、営業利益は 51 億円、経常利益は 58 億円、当期純利益は 34 億円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等に簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(固定資産の減価償却の方法の変更)

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

(事業区分の方法の変更)

当社グループにおいてウェディングサポート事業であるベルマリエについては、従来「通信販売事業」に含めて表示しておりましたが、当連結会計年度より「その他の事業」として表示しております。これは、ベルマリエがドレス販売また式場紹介やチャペルウェディングの運営など、ブライダル総合プロデュースを中心とした事業へ再編したことに伴うものであります。

この結果、従来の区分によった場合と比較して、当第 3 四半期の売上高は「通信販売事業」が 80 百万円減少するとともに「その他の事業」が同額増加し、営業利益は「通信販売事業」が 149 百万円増加するとともに「その他の事業」が同額減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	期別 前第3四半期末 (平成18年9月30日)		当第3四半期末 (平成19年9月30日)		増減		前連結会計年度末 (平成18年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産	47,244	50.4	51,690	51.0	4,446	9.4	47,328	49.6
現金及び預金	3,573		2,371		△ 1,202		5,464	
受取手形及び売掛金	11,820		11,926		106		11,293	
有価証券	85		85		0		85	
たな卸資産	18,518		22,135		3,617		16,432	
その他	13,246		15,171		1,925		14,051	
II 固定資産	46,494	49.6	49,634	49.0	3,140	6.8	48,180	50.4
有形固定資産	24,839		25,180		340		24,592	
無形固定資産	2,040		3,690		1,650		2,600	
投資その他の資産	19,614		20,763		1,149		20,987	
資産合計	93,738	100.0	101,325	100.0	7,587	8.1	95,508	100.0
(負債の部)								
I 流動負債	36,237	38.7	42,719	42.2	6,481	17.9	37,554	39.3
支払手形及び買掛金	11,426		11,246		△ 179		11,710	
短期借入金	903		5,000		4,096		53	
未払金	7,595		8,203		607		7,046	
ファクタリング未払金	12,185		12,955		769		14,990	
その他	4,126		5,313		1,186		3,753	
II 固定負債	2,475	2.6	2,121	2.1	△ 354	△ 14.3	2,245	2.4
長期借入金	340		—		△ 340		342	
その他	2,135		2,121		△ 14		1,903	
負債合計	38,713	41.3	44,840	44.3	6,127	15.8	39,800	41.7
(純資産の部)								
I 株主資本	60,238	64.3	<u>62,278</u>	<u>61.4</u>	<u>2,039</u>	<u>3.4</u>	60,923	63.8
資本金	20,359	21.7	20,359	20.1	—	—	20,359	21.3
資本剰余金	20,716	22.1	21,002	20.7	285	1.4	20,716	21.7
利益剰余金	20,203	21.6	<u>21,589</u>	<u>21.3</u>	<u>1,386</u>	<u>6.9</u>	20,889	21.9
自己株式	△ 1,039	△ 1.1	△ 678	△ 0.7	360	△ 34.7	△ 1,041	△ 1.1
自己株式申込証拠金	—	—	5	0.0	5	—	—	—
II 評価・換算差額等	△ 5,266	△ 5.6	<u>△ 5,859</u>	<u>△ 5.8</u>	<u>△ 592</u>	<u>11.3</u>	△ 5,261	△ 5.5
その他有価証券評価差額金	1,468	1.6	769	<u>0.8</u>	△ 699	△ 47.6	1,336	1.4
繰延ヘッジ損益	605	0.6	<u>727</u>	<u>0.7</u>	<u>121</u>	<u>20.1</u>	734	0.8
土地再評価差額金	△ 7,301	△ 7.8	△ 7,359	△ 7.3	△ 58	0.8	△ 7,301	△ 7.7
為替換算調整勘定	△ 39	△ 0.0	4	0.0	43	△ 110.2	△ 31	△ 0.0
III 少数株主持分	52	0.0	66	0.1	13	26.2	46	0.0
純資産合計	55,024	58.7	56,484	55.7	1,460	2.7	55,708	58.3
負債純資産合計	93,738	100.0	101,325	100.0	7,587	8.1	95,508	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第3四半期 〔自平成18年1月1日 至平成18年9月30日〕		当第3四半期 〔自平成19年1月1日 至平成19年9月30日〕		増 減		前連結会計年度 〔自平成18年1月1日 至平成18年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	105,490	100.0	110,786	100.0	5,296	5.0	148,150	100.0
II 売 上 原 価	53,489	50.7	57,112	51.6	3,622	6.8	75,727	51.1
売 上 総 利 益	52,000	49.3	53,674	48.4	1,673	3.2	72,423	48.9
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	48,848	46.3	50,383	45.4	1,535	3.1	67,821	45.8
営 業 利 益	3,152	3.0	3,290	3.0	138	4.4	4,602	3.1
IV 営 業 外 収 益	459	0.4	<u>624</u>	0.5	<u>164</u>	<u>35.8</u>	773	0.5
受 取 利 息	113		231		118		175	
受 取 配 当 金	54		87		33		69	
為 替 差 益	111		<u>79</u>		<u>△ 32</u>		120	
そ の 他	179		225		45		408	
V 営 業 外 費 用	106	0.1	<u>225</u>	<u>0.2</u>	<u>119</u>	<u>112.3</u>	134	0.1
支 払 利 息	35		37		2		48	
そ の 他	71		188		117		86	
経 常 利 益	3,505	3.3	<u>3,689</u>	<u>3.3</u>	<u>183</u>	<u>5.2</u>	5,240	3.5
VI 特 別 利 益	57	0.1	335	0.3	277	484.3	57	0.0
VII 特 別 損 失	126	0.1	747	<u>0.6</u>	620	489.4	1,422	0.9
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,436	3.3	<u>3,276</u>	<u>3.0</u>	<u>△ 159</u>	<u>△ 4.6</u>	3,874	2.6
法 人 税 等	482	0.5	<u>1,454</u>	<u>1.3</u>	<u>972</u>	<u>201.6</u>	239	0.2
少数株主利益(△は損失)	12	0.0	<u>△ 8</u>	<u>△ 0.0</u>	<u>△ 21</u>	<u>△170.7</u>	7	0.0
四半期(当期)純利益	2,941	2.8	<u>1,831</u>	<u>1.7</u>	<u>△1,109</u>	<u>△ 37.7</u>	3,627	2.4

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度
		(自平成18年1月1日 至平成18年9月30日)	(自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)	(自平成18年1月1日 至平成18年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		3,436	3,276	3,874
減価償却費		1,212	1,250	1,620
販売促進引当金の減少額	△	171	77	410
受取利息及び受取配当金	△	168	319	244
支払利息		35	37	48
売上債権の増加額	△	1,734	339	1,221
たな卸資産の増加額	△	3,339	5,559	1,524
その他流動資産の増加額	△	1,058	497	2,013
仕入債務の減少(増加)額		419	741	703
その他流動負債の減少額	△	2,485	1,506	146
その他	△	254	188	814
小 計	△	4,109	4,287	1,501
利息及び配当金の受取額		196	281	246
利息の支払額	△	39	48	48
法人税等の支払額	△	241	400	229
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	4,193	4,454	1,470
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	481	909	558
有形固定資産の売却による収入		371	147	371
無形固定資産の取得による支出	△	710	1,604	1,083
投資有価証券の取得による支出	△	3,185	1,763	5,323
投資有価証券の売却による収入		649	2,123	649
その他	△	150	1,149	481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	3,507	3,155	6,426
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		850	5,000	—
長期借入れによる収入		—	66	—
長期借入金の返済による支出	△	123	456	123
自己株式の取得による支出	△	15	31	18
自己株式の売却による収入		187	686	188
少数株主からの払込みによる収入		—	30	—
配当金の支払額	△	917	1,054	919
少数株主への配当金の支払額	△	2	2	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	21	4,238	875
IV 現金及び現金同等物の減少額	△	7,722	3,371	5,831
V 現金及び現金同等物の期首残高		11,320	5,549	11,320
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		60	275	60
VII 現金及び現金同等物の期末残高		3,659	2,453	5,549



平成 19 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 10 月 19 日

上場会社名 株式会社千趣会

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 8165

URL <http://www.senshukai.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 行待 裕弘

問合せ先責任者 役職名 取締役総務・IR広報部、財務企画部管掌

TEL (06) 6881-3100

氏名 藤由 和秀

(百万円未満切捨)

1. 平成 19 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 12 月期第 3 四半期	110,786	5.0	3,290	4.4	2,937	△16.2	1,383	△53.0
18 年 12 月期第 3 四半期	105,490	0.4	3,152	18.7	3,505	23.4	2,941	572.6
18 年 12 月期	148,150	—	4,602	—	5,240	—	3,627	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 12 月期第 3 四半期	29 75	29 65
18 年 12 月期第 3 四半期	63 91	63 64
18 年 12 月期	78 81	78 55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 12 月期第 3 四半期	101,325	56,484	55.7	1,209 44
18 年 12 月期第 3 四半期	93,738	55,024	58.6	1,192 88
18 年 12 月期	95,508	55,708	58.3	1,207 89

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 12 月期第 3 四半期	△ 4,454	△ 3,155	4,238	2,453
18 年 12 月期第 3 四半期	△ 4,193	△ 3,507	△ 21	3,659
18 年 12 月期	1,470	△ 6,426	△ 875	5,549

2. 平成 19 年 12 月期の連結業績予想 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	155,000 4.6	5,600 21.7	6,000 14.5	2,800 △22.8	60 23

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 12 月期 (通期) の連結業績予想に関する事項について修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、大企業の景況感は横ばい、中小企業は悪化しております。設備投資は堅調さを保っておりますが、個人消費に関しては足踏みを続けております。今後の景気の先行きに関しましても不透明さを増しております。また小売業界におきましても、個人住民税の負担増や年金不安に伴う消費者心理の悪化や天候不順による衣料の売上不振など厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、『中期経営計画』の最終年度として目標達成に向け中核事業である通信販売事業の収益力強化と効率化に引き続き努めてまいりました。

当第 3 四半期の売上高は、1,107 億 86 百万円（前年同期比 5.0%増）となりました。

利益面に関しましては、原価率は上昇いたしました。媒体費の削減などによる販売費及び一般管理費比率の低減により、営業利益は 32 億 90 百万円（前年同期比 4.4%増）となりました。

また経常利益は 29 億 37 百万円（前年同期比 16.2%減）となり、四半期純利益につきましては、繰越欠損金の解消による法人税等の増加により 13 億 83 百万円（前年同期比 53.0%減）となりました。

セグメント別の概況

(通信販売事業)

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第 3 四半期の売上高は、頒布会事業の会員数の減少による売上減はあったものの、カタログ事業において媒体により多少増減はありましたが、全体で前年度を上回り、1,027 億 8 百万円（前年同期比 1.6%増）となりました。

利益面におきましては、原価率の上昇により粗利益は低下いたしました。販売費及び一般管理費比率の低減により営業利益は 34 億 43 百万円（前年同期比 7.0%増）となりました。

(1) カタログ事業

当第 3 四半期の売上高は 918 億 98 百万円（前年同期比 3.4%増）となりました。

(2) 頒布会事業

当第 3 四半期の売上高は 108 億 9 百万円（前年同期比 11.2%減）となりました。

(その他の事業)

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送事業及び店舗事業、また法人向けの商品・サービスを提供する法人事業などを合わせたその他の事業の当第 3 四半期の売上高は、新規連結子会社の売上もあり 80 億 78 百万円（前年同期比 82.9%増）となりました。また営業損失に関しては、1 億 41 百万円（前年同期比 71 百万円損失増）となりました。

(注) 当中間連結会計期間よりセグメントの事業区分を変更しており、前年同期との比較にあたっては、前年同期の金額を変更後の区分に組替えて行っております。

なお、詳細については、3 ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 58 億 16 百万円増加し、1,013 億 25 百万円となりました。流動資産については、たな卸資産が 57 億 2 百万円増加したこと等により、43 億 62 百万円増加し、516 億 90 百万円となりました。また、有形固定資産が 5 億 87 百万円、無形固定資産が 10 億 90 百万円それぞれ増加いたしました。投資その他の資産が 2 億 23 百万円減少したことにより、固定資産は 14 億 54 百万円増加し、496 億 34 百万円となりました。

負債につきましては、流動負債において、短期借入金が増加したこと等により、50 億 40 百万円増加し、448 億 40 百万円となりました。

純資産は、四半期純利益 13 億 83 百万円を計上いたしました。その他有価証券評価差額金が 5 億 67 百万円減少したこと等により、7 億 76 百万円増加し、564 億 84 百万円となりました。この結果自己資本比率は 55.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物の残高は 24 億 53 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 30 億 96 百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は 44 億 54 百万円の支出となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益 25 億 24 百万円、減価償却費 12 億 50 百万円であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額 55 億 59 百万円、その他流動負債の減少額 15 億 6 百万円、仕入債務の減少額 7 億 41 百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 31 億 55 百万円の支出となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却による収入 21 億 23 百万円であり、主なマイナス要因は、投資有価証券の取得による支出 17 億 63 百万円、無形固定資産の取得による支出 16 億 4 百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は 42 億 38 百万円の収入となりました。主なプラス要因は、短期借入金の増加額 50 億円、自己株式の売却による収入 6 億 86 百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額 10 億 54 百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、景気は回復基調を保っておりますが、個人消費は低迷が続いております。また米国経済懸念や原材料高や為替変動のリスクなど不透明感を増してきております。

当社グループの通期の連結業績見通しといたしましては、残暑が続いたことによる秋冬カタログの売上減少やバーゲン増による原価率上昇の見込みによりこの中間期に発表いたしました業績予想を修正いたしました。売上高は 1,550 億円と予想しております。また利益面に関しましては、営業利益は 56 億円、経常利益は 60 億円、当期純利益は 28 億円を見込んでおります。

なお、個別業績予想についても同様に売上高は 1,500 億円と予想しております。また利益面に関しましては、営業利益は 51 億円、経常利益は 58 億円、当期純利益は 34 億円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等に簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(固定資産の減価償却の方法の変更)

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

(事業区分の方法の変更)

当社グループにおいてウェディングサポート事業であるベルマリエについては、従来「通信販売事業」に含めて表示しておりましたが、当連結会計年度より「その他の事業」として表示しております。これは、ベルマリエがドレス販売また式場紹介やチャペルウェディングの運営など、ブライダルの総合プロデューズを中心とした事業へ再編したことに伴うものであります。

この結果、従来の区分によった場合と比較して、当第 3 四半期の売上高は「通信販売事業」が 80 百万円減少するとともに「その他の事業」が同額増加し、営業利益は「通信販売事業」が 149 百万円増加するとともに「その他の事業」が同額減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	期別		前第3四半期末 (平成18年9月30日)		当第3四半期末 (平成19年9月30日)		増減		前連結会計年度末 (平成18年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比		
(資産の部)		%		%		%				%
I 流動資産	47,244	50.4	51,690	51.0	4,446	9.4	47,328	49.6		
現金及び預金	3,573		2,371		△ 1,202		5,464			
受取手形及び売掛金	11,820		11,926		106		11,293			
有価証券	85		85		0		85			
たな卸資産	18,518		22,135		3,617		16,432			
その他	13,246		15,171		1,925		14,051			
II 固定資産	46,494	49.6	49,634	49.0	3,140	6.8	48,180	50.4		
有形固定資産	24,839		25,180		340		24,592			
無形固定資産	2,040		3,690		1,650		2,600			
投資その他の資産	19,614		20,763		1,149		20,987			
資産合計	93,738	100.0	101,325	100.0	7,587	8.1	95,508	100.0		
(負債の部)										
I 流動負債	36,237	38.7	42,719	42.2	6,481	17.9	37,554	39.3		
支払手形及び買掛金	11,426		11,246		△ 179		11,710			
短期借入金	903		5,000		4,096		53			
未払金	7,595		8,203		607		7,046			
ファクタリング未払金	12,185		12,955		769		14,990			
その他	4,126		5,313		1,186		3,753			
II 固定負債	2,475	2.6	2,121	2.1	△ 354	△ 14.3	2,245	2.4		
長期借入金	340		—		△ 340		342			
その他	2,135		2,121		△ 14		1,903			
負債合計	38,713	41.3	44,840	44.3	6,127	15.8	39,800	41.7		
(純資産の部)										
I 株主資本	60,238	64.3	<u>61,829</u>	<u>61.0</u>	<u>1,591</u>	<u>2.6</u>	60,923	63.8		
資本金	20,359	21.7	20,359	20.1	—	—	20,359	21.3		
資本剰余金	20,716	22.1	21,002	20.7	285	1.4	20,716	21.7		
利益剰余金	20,203	21.6	<u>21,141</u>	<u>20.9</u>	<u>938</u>	<u>4.6</u>	20,889	21.9		
自己株式	△ 1,039	△ 1.1	△ 678	△ 0.7	360	△ 34.7	△ 1,041	△ 1.1		
自己株式申込証拠金	—	—	5	0.0	5	—	—	—		
II 評価・換算差額等	△ 5,266	△ 5.6	<u>△ 5,411</u>	<u>△ 5.4</u>	<u>△ 144</u>	<u>2.7</u>	△ 5,261	△ 5.5		
その他有価証券評価差額金	1,468	1.6	769	0.7	△ 699	△ 47.6	1,336	1.4		
繰延ヘッジ損益	605	0.6	<u>1,175</u>	<u>1.2</u>	<u>569</u>	<u>94.1</u>	734	0.8		
土地再評価差額金	△ 7,301	△ 7.8	△ 7,359	△ 7.3	△ 58	0.8	△ 7,301	△ 7.7		
為替換算調整勘定	△ 39	△ 0.0	4	0.0	43	△ 110.2	△ 31	△ 0.0		
III 少数株主持分	52	0.0	66	0.1	13	26.2	46	0.0		
純資産合計	55,024	58.7	56,484	55.7	1,460	2.7	55,708	58.3		
負債純資産合計	93,738	100.0	101,325	100.0	7,587	8.1	95,508	100.0		

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第 3 四半期 (自平成18年1月1日 至平成18年9月30日)		当第 3 四半期 (自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)		増 減		前連結会計年度 (自平成18年1月1日 至平成18年12月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	105,490	100.0	110,786	100.0	5,296	5.0	148,150	100.0
II 売 上 原 価	53,489	50.7	57,112	51.6	3,622	6.8	75,727	51.1
売 上 総 利 益	52,000	49.3	53,674	48.4	1,673	3.2	72,423	48.9
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	48,848	46.3	50,383	45.4	1,535	3.1	67,821	45.8
営 業 利 益	3,152	3.0	3,290	3.0	138	4.4	4,602	3.1
IV 営 業 外 収 益	459	0.4	544	0.5	85	18.5	773	0.5
受 取 利 息	113		231		118		175	
受 取 配 当 金	54		87		33		69	
為 替 差 益	111		—		△ 111		120	
そ の 他	179		225		45		408	
V 営 業 外 費 用	106	0.1	897	0.8	791	746.0	134	0.1
支 払 利 息	35		37		2		48	
為 替 差 損	—		672		672		—	
そ の 他	71		188		117		86	
経 常 利 益	3,505	3.3	2,937	2.7	△ 568	△ 16.2	5,240	3.5
VI 特 別 利 益	57	0.1	335	0.3	277	484.3	57	0.0
VII 特 別 損 失	126	0.1	747	0.7	620	489.4	1,422	0.9
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,436	3.3	2,524	2.3	△ 911	△ 26.5	3,874	2.6
法 人 税 等	482	0.5	1,150	1.1	668	138.6	239	0.2
少数株主利益(△は損失)	12	0.0	△ 8	△ 0.0	△ 21	△ 170.7	7	0.0
四半期(当期)純利益	2,941	2.8	1,383	1.2	△ 1,558	△ 53.0	3,627	2.4

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度
		(自平成18年1月1日 至平成18年9月30日)	(自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)	(自平成18年1月1日 至平成18年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		3,436	2,524	3,874
減価償却費		1,212	1,250	1,620
販売促進引当金の減少額	△	171	77	410
受取利息及び受取配当金	△	168	319	244
支払利息		35	37	48
売上債権の増加額	△	1,734	339	1,221
たな卸資産の増加額	△	3,339	5,559	1,524
その他流動資産の増加額	△	1,058	497	2,013
仕入債務の減少(増加)額		419	741	703
その他流動負債の減少額	△	2,485	1,506	146
その他	△	254	940	814
小 計	△	4,109	4,287	1,501
利息及び配当金の受取額		196	281	246
利息の支払額	△	39	48	48
法人税等の支払額	△	241	400	229
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	4,193	4,454	1,470
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	481	909	558
有形固定資産の売却による収入		371	147	371
無形固定資産の取得による支出	△	710	1,604	1,083
投資有価証券の取得による支出	△	3,185	1,763	5,323
投資有価証券の売却による収入		649	2,123	649
その他	△	150	1,149	481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	3,507	3,155	6,426
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		850	5,000	—
長期借入れによる収入		—	66	—
長期借入金の返済による支出	△	123	456	123
自己株式の取得による支出	△	15	31	18
自己株式の売却による収入		187	686	188
少数株主からの払込みによる収入		—	30	—
配当金の支払額	△	917	1,054	919
少数株主への配当金の支払額	△	2	2	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	21	4,238	875
IV 現金及び現金同等物の減少額	△	7,722	3,371	5,831
V 現金及び現金同等物の期首残高		11,320	5,549	11,320
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		60	275	60
VII 現金及び現金同等物の期末残高		3,659	2,453	5,549